

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	スマートエコやわたプロジェクト		実施期間	平成26年度	テーマ	環境保全 土地利用	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に生息する動植物を調査し、今後の市内の環境保全の指標と生態系の記録が求められている。 ・野良犬・猫を抑制しなければいけない。 ・「人と自然が共生する環境にやさしいまち」の実現に向けて、循環型の社会を目指す啓発をする必要がある。 ・フードマイレージを削減するために地域で生産された農産物や水産物をその地域で消費する仕組みづくりが必要である。 ・ごみ収集の市民サービス充実を図るため、環境に配慮したじんかい収集車の更新が必要である。 							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に生息する動植物を調査し、今後の市内の環境保全の指標とし、動植物図鑑をつくる。 ・市民による環境に配慮した活動ができるようにする。 ・24年度から実施しているスマートエコ祭を引き続き開催し、今年度も市民からゴーヤカーテン写真を募集する。 ・じんかい収集車の更新により、効率的なごみ収集を図るとともに、低燃費車の導入により環境に配慮する。 							
	総事業費（千円）	39,809	本年度事業費（千円）	31,809	交付金額（千円）	1,326		
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）				
市町村 実施事業	市内動植物調査事業	交付対象事業	市内に生息する動植物を調査し、今後の市内の環境保全の指標とするとともに、市民の環境意識の向上を図る。	市内動植物の現地調査、分析、資料作成				
	じんかい収集車整備事業	交付対象事業	環境に配慮したじんかい収集車3台を購入する。	ディーゼル3.5tプレス車 2台 ディーゼル2t回転車 1台				
住民 協働 事業	スマートエコ祭開催経費	交付対象事業	市民と協働して環境保全活動の啓発イベントを実施。グリーンカーテンコンテスト、エコクイズ等。	グリーンカーテンフォトコンテスト エコクイズ、環境家計簿実施等				
住民が 取り組む 事業	犬・猫避妊去勢手術助成事業	交付対象事業	犬・猫の繁殖を抑制し、動物愛護精神及び適正飼養の啓発を図る。	助成件数 285件				
	フードマイレージ削減！地産地消推進事業	交付対象事業	地元産米・味噌を利用した小学校に助成。八幡市の農産物であることを出荷袋等に表記しPRする。	地元産米（八幡産米）小学校給食利用促進助成、八幡産ブランド野菜PR、安全・安心でおいしいお米生産助成				
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	犬・猫避妊去勢手術 助成件数 0件→ 300件		成果指標の実績値 (27年4月1日時点)	285件			
	成果指標の達成状況	○	(左の理由) 犬・猫避妊去勢手術を助成した。					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)			(時期)		
成果 指標	成果指標の目標数値			成果指標の実績値 (27年4月1日時点)				
	成果指標の達成状況		(左の理由)					

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：八幡市

②	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	(時期)
<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>野良犬・猫を抑制するとともに、動物愛護精神及び適正飼養の住民意識の向上に寄与した。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>		
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>		
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<p>京都府が推進する再生可能エネルギー活用の取り組み及び温室効果ガスの削減に寄与することができた。</p>	
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>スマートエコ祭を実施することにより、市民と協働して環境保全活動の啓発につながった。</p>	
	<p>リーディング・モデル成果</p>		
	<p>広域的波及成果</p>	<p>市内に生息する動植物を調査し、今後の市内の環境保全の指標とする。</p>	
	<p>行財政改革に資する成果</p>		
	<p>その他の成果</p>		

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。